

「プログラミング応用」における成績評価基準

| 重要度・評価水準 | 重要度 | Cレベル(改善が必要) | Bレベル(もう少し努力) | Aレベル(目標達成) | Sレベル(素晴らしい) |
|--|-----|-------------|--------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|
| (1)プログラミングの基本要素(データ型、演算子、制御文の仕組みと使い方がわかる。) | 20% | 専門用語を知っている。 | サンプルプログラムを正常に実行することができる。 | 課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。 | 設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。 |
| (2)プログラミングの機能連係(メソッド、データの入出力の仕組みと使い方がわかる。) | 40% | 専門用語を知っている。 | サンプルプログラムを正常に実行することができる。 | 課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。 | 設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。 |
| (3)クラス(オブジェクト指向プログラミング、クラス概念を理解し、プログラムを作成できる。) | 40% | 専門用語を知っている。 | サンプルプログラムを正常に実行することができる。 | 課題プログラムを自らの力で作成し、正常に実行することができる。 | 設計思想、可読性、ドキュメントを考慮して、課題プログラムが作成されている。 |